

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 5年 12月 15日

事業所名： 放課後サポートクラブえがお

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			法令を遵守し、基準以上のスペースを確保しています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	5			国で定められている基準より多い人数の職員配置をしています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			玄関、玄関ポーチ、ホール、トイレ等に手すりを備え付け、床の段差も少なくバリアフリー化となっています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			毎日のミーティングや会議等の中で振り返りを行い、改善点について話し合いを行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者の方からの意見を職員間で協議し、業務改善につなげています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページにて公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5		現在、第三者評価は行っていません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			職員研修を行い、外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			アセスメントと個別支援計画を3ヶ月～6カ月に一回作成しています。保護者の方のニーズや子どもたちの課題に変更がある時は、期間に関係なく対応しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			日々のミーティングやヒヤリハットの記録から分析し、効果的な支援に繋がっています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			ミーティングや会議等で活動内容や支援方法をチームで考え行っています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			活動プログラムが固定化しないよう、SST、コグトレ、運動、創作活動等、様々な活動を取り入れ総合的に支援しています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			平日では取り組むことが出来ない季節のイベントやお出かけ等、時間を要する活動を長期休暇中等に取り入れています。	

関係機関や保護者との連携	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別支援では、児童それぞれの課題に取り組んでいます。集団活動では、ルール遊び等を通して感覚統合を促しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			支援の当日、翌日のミーティングで活動計画内容と活動の進め方、支援方法、振り返りを行い、支援記録や個別支援評価表に記録しています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			6カ月に一回見直しを行っています。児童の状況によって見直しの必要があると感じた時は、保護者の方や学校の先生と情報共有した上でその都度計画の見直しを行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			自立支援、日常生活充実の為の活動、創作活動、SST、社会性の向上等、様々な活動に取り組んでいます。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児童発達支援管理責任者が中心となり参加しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			行事予定表や下校時間の変更等は、保護者の方から連絡をいただいています。また、送迎時に担任の先生や保護者の方と情報交換を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	4		現在、該当児童はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			サービス担当者会議で情報共有、相互理解できるように努めています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	1	現在、該当する児童はいませんが、サービス担当者会議等で情報提供することができます。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			発達障がい者支援センター等のオンライン研修に参加しています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5		現時点ではありません。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		4	1		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			支援終了後、その日の様子を保護者の方へ直接、またはメールにてお伝えしています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標		
保護者への説明責任等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	2		保護者の方から希望があれば対応していきます	
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に説明を行っています。また問い合わせ等については、都度スタッフが丁寧に説明しています。		
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			送迎時に行っています。保護者の方から希望がある時は、事業所内相談等で適切に対応しています。		
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5		希望に応じて検討をしていきます。	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情があった場合には、苦情受付解決担当が迅速かつ適切に対応するよう努めています。		
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		5		えがお新聞（広報誌）を定期的に発行していましたが、児童が増え業務が多くなった為、現在休止中です。		
	③5	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報の取り扱いには十分注意しています。		
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			意思相通や情報伝達の為、言語通訳機等を使い工夫している。		
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5		今後検討していきます。	
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		2	マニュアルに沿って研修、訓練等を行っています。避難訓練を行った時は保護者の方にお伝えしています。		
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			定期的に火災、地震、浸水、不審者対応の避難訓練を行っています。		
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			外部研修に参加し、研修内容を基に事業所内で研修を実施しています。		
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3		1	1	身体拘束については、契約書に記載しています。契約時に保護者の方へ説明し理解を得ています。	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5				契約時に保護者の方に確認し、保護者の方からの情報を基に対応しています。	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				ヒヤリハット報告書を基に情報共有し職員間で協議を行い再発防止に努めています。	